

和 8 年度新潟県病虫害発生予察情報・予報第 8 号
(1 0 月の発生予想)

令和 8 年 10 月 2 日

【作物名】 病虫害名	予報内容 発 生 量： 平 年 比 発生程度：	予報の根拠
---------------	-------------------------------	-------

【夏秋きゅうり】

べと病	量：少ない 程度：少発生 (発病葉率 1～25%)	① 9 月下旬の発生量は平年比やや少ない。(－) ② 向こう 1 か月の気温は高いと予想されている。 (－)
うどんこ病	量：並 程度：中発生 (発病葉率 26～50%)	① 9 月下旬の発生量は平年並。(±) ② 向こう 1 か月の気温は高いと予想されている。 (＋)
褐斑病	量：並 程度：少発生 (発病葉率 1～5%)	① 9 月下旬の発生量は平年並。(±) ② 向こう 1 か月の気温は高いと予想されている。 (－)
コナジラミ類	量：やや多い 程度：少発生 (成虫寄生葉率 1～30%)	① 9 月下旬の発生量は平年並。(±) ② 向こう 1 か月の気温は高いと予想されている。 (＋)
アザミウマ類	量：やや多い 程度：少発生 (寄生葉率 1～5%)	① 9 月下旬の発生量は平年並。(±) ② 向こう 1 か月の気温は高いと予想されている。 (＋)
ハモグリバエ類	量：やや多い 程度：少発生 (被害株率 1～25%)	① 9 月下旬の発生量は平年並。(±) ② 向こう 1 か月の気温は高いと予想されている。 (＋)
ワタヘリクロノメイガ (ウリノメイガ)	量：並 程度：少発生 (寄生株率 1～20%)	① 9 月下旬の発生量は平年比やや少ない。(－) ② 向こう 1 か月の気温は高いと予想されている。 (＋)

【秋冬だいこん】

べと病	量：並 程度：少発生 (発病度 1～15)	① 9 月下旬の発生は未確認で発生量は平年並。(±) ② 向こう 1 か月の降水量はほぼ平年並と予想されている。(±)
黒斑細菌病	量：並 程度：少発生 (発病度 1～15)	① 9 月下旬の発生は未確認で発生量は平年並。(±) ② 向こう 1 か月の降水量はほぼ平年並と予想されている。(±)
白さび病	量：並 程度：少発生 (発病株率 1～20%)	① 9 月下旬の発生は未確認で発生量は平年並。(±) ② 向こう 1 か月の降水量はほぼ平年並と予想されている。(±)
アブラムシ類	量：やや少ない 程度：少発生 (発生程度指数 1～50)	① 9 月下旬の発生は未確認で発生量は平年比やや少ない。(－) ② 向こう 1 か月の降水量はほぼ平年並と予想されている。(±)

【作物名】 病害虫名	予報内容 発 生 量： 平 年 比 発生程度：	予報の根拠
---------------	-------------------------------	-------

【秋冬だいこん】 つづき

コナガ	量：並 程度：少発生 (寄生株率 1～10%)	① 9月下旬の発生は未確認で発生量は平年並。(±) ② フェロモントラップの誘殺数は平年並。(±) ③ 向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は ほぼ平年並(±)と予想されている。
-----	-------------------------------	---

【秋冬ねぎ】

さび病	量：やや少ない 程度：少発生 (発病度 1～5)	① 9月下旬の発生量は平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予想されて いる。(±)
黒斑病・葉枯病	量：やや少ない 程度：少発生 (発病度 1～20)	① 9月下旬の発生量は平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予想されて いる。(±)
軟腐病	量：並 程度：少発生 (発病株率 1～5%)	① 9月下旬の発生量は平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の気温は高く(+)、降水量はほぼ平 年並(±)と予想されている。
ネギハモグリバエ	量：やや少ない 程度：少発生 (被害度 1～10)	① 9月下旬の発生量は平年比少ない。(－) ② 向こう1か月の気温は高いと予想されている。(＋)
ネギアザミウマ	量：やや多い 程度：多発生 (被害度 21～30)	① 9月下旬の発生量は平年比やや少ないが(－)、甚 発生のは場も見られる。(＋) ② 向こう1か月の気温は高いと予想されている。(＋)
シロイチモジヨトウ	量：やや多い 程度：中発生 (被害株率 11～20%)	① 9月下旬の発生量は平年比やや少ない。(－) ② 9月第5半旬のフェロモントラップ誘殺数は平年 比やや多い。(＋) ③ 向こう1か月の気温は高いと予想されている。(＋)

【その他】

【野菜・花き類 全般】 オオタバコガ	量：やや多い	① フェロモントラップの誘殺数は平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は高く(+)、降水量はほぼ平 年並(±)と予想されている。
【果樹・野菜・花き 類全般】 ハスモンヨトウ	量：やや多い	① フェロモントラップの誘殺数は平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は高く(+)、降水量はほぼ平 年並(±)と予想されている。

～ 防除上の注意事項は、最新の「新潟県農作物病害虫雑草防除指針」を参照してください ～

注１：①「予報内容」の発生量は、予想される発生量が、新潟県における平年の発生量に比べて多いか少ないかを、少、やや少、並、やや多、多の５段階で表記しています。

②発生程度は、予想される発生量が、国の調査実施基準等で定められている、無発生、少発生、中発生、多発生、甚発生のいずれに該当するかを表記しています。

注２： 「予報の根拠」の、（＋）は発生量を増加させる要因、（－）は発生量を減少させる要因、（±）はどちらともいえない要因を示しています。

～ 農薬は適正に使用しましょう ～

- 農薬の準備・使用にあたっては、必ず最新の農薬登録情報を確認しましょう。
- 使用に際しては、ラベルに記載の使用基準や注意事項をよく読み、使用者が責任を持って使いましょう。
- 農薬の飛散防止に努めましょう。周辺作物や住宅及びミツバチ等への危害防止のため、周辺の生産者や住民、養蜂業者に事前に防除計画を通知するなどの対策をとりましょう。
- 農薬の使用後は防除日誌や作業日誌等の記帳に努めましょう。
- 水田で湛水して農薬を散布する場合は、処理後７日間の止水を厳守し、落水しないようにしましょう。

【参考】北陸地方 １か月予報（１０月３日から１１月２日までの天候見通し）

（新潟地方气象台：令和８年１０月１日発表）

<予想される向こう１か月の天候>

・天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

週別の気温は、１週目は、平年並または高い確率ともに４０％です。

２週目は、高い確率５０％です。

３～４週目は、高い確率６０％です。

<向こう１か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）>

	低い（少ない）	平年並	高い（多い）
気 温	１０	４０	５０
降 水 量	４０	３０	３０
日照時間	２０	４０	４０

<気温経過の各階級の確率（％）>

	低い	平年並	高い
１週目（１０月 ３日～１０月 ９日）	２０	４０	４０
２週目（１０月１０日～１０月１６日）	２０	３０	５０
３～４週目（１０月１７日～１０月３０日）	１０	３０	６０